

【実証から事業判断へ】

ロボタクシー社会実装の現在地と今後の展望

～社会実装を左右する制度・責任・収益性の整理～

— 講 師 —

株式会社明治安田総合研究所 経済調査部 エコノミスト 藤田 敬史 氏

日 時 2026 年 2 月 2 5 日（水） 午前 1 0 時～1 2 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信（2 週間、何度でもご視聴可）
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

〔重点講義内容〕

本講演では、近年深刻化するタクシー不足を起点に、自動運転・ロボットタクシーが果たし得る社会的役割と、その社会実装に向けた課題を多角的に整理します。

タクシー運転手の減少・高齢化や訪日外客需要の拡大といった構造変化を踏まえ、Waymo をはじめとする海外勢の動向と、日本の自動車メーカー等による実証実験の特徴を比較します。

あわせて、レベル 4 自動運転における事故時の責任判断、保険制度、法制度整備の現状を解説し、社会的受容性を高めるために必要な官民・業界横断的連携の在り方を展望します。

1. タクシー不足の構造要因、訪日外客増加と交通需要
2. 海外勢の先行事例と日本勢の強み
3. 国内実証実験の到達点と課題
4. 事故発生時の責任判断
5. 自賠償保険・任意保険・PL 法の関係
6. 社会的受容性の壁
7. 社会実装に向けた対応
8. 質疑応答／名刺交換

P R O F I L E 藤田 敬史（ふじた たかふみ）氏

同志社大学経済学部卒業、明治安田生命入社、明治安田アセットマネジメント、日本経済研究センター派遣などを経て、2024 年 4 月より現職。

